

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第1部門第2区分

【発行日】平成21年11月12日(2009.11.12)

【公表番号】特表2009-508659(P2009-508659A)

【公表日】平成21年3月5日(2009.3.5)

【年通号数】公開・登録公報2009-009

【出願番号】特願2008-532394(P2008-532394)

【国際特許分類】

A 6 1 F 2/82 (2006.01)

A 6 1 B 17/24 (2006.01)

A 6 1 B 17/32 (2006.01)

【F I】

A 6 1 M 29/02

A 6 1 B 17/24

A 6 1 B 17/32

【手続補正書】

【提出日】平成21年9月18日(2009.9.18)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

患者の気道の狭窄の部位で気道気球拡張手技を行なうための装置であつて、
中心軸と、

患者が中空コアを通じて人工呼吸を施されることを可能にするのに適した中空コアと、
外表面を有する膨張式の外部気球と、

少なくとも1つの膨張式の内部気球とを備え、

前記は装置収縮させられた構成と膨張した構成の間で前記気球の移動のための患者の前記気道に挿入することができ、前記少なくとも1つの内部気球前記外部気球の内部でさらに前記外部気球とは別々に膨張するように構成されたこと

を特徴とする装置。

【請求項2】

前記膨張式の外部気球は、前記狭窄に対する位置において前記外部気球を保持するために亜鈴型であることを特徴とする請求項1に記載の装置。

【請求項3】

複数の内部気球を備えることを特徴とする請求項1に記載の装置。

【請求項4】

第2の内部気球の内部に含まれる第1の内部気球と、第3の内部気球の内部に含まれる前記第2の内部気球と、前記外部気球の内部に含まれ別々に膨張式であるすべての内部気球とを含む3つの内部気球が存在することを特徴とする請求項3に記載の装置。

【請求項5】

複数の膨張式の内部気球を備え、すべての内部気球は、前記外部気球の内部に含まれ、前記外部気球と同時に膨張式であることを特徴とする請求項3に記載の装置。

【請求項6】

前記装置の前記中心軸に沿っておよび前記外部気球の外表面上にマウントされた縮み支柱部材をさらに備え、前記縮み支柱部材は、移動と同時に前記外部気球の前記外表面

に実質的に迎合的であり、少なくとも 1 つの顕微手術のブレードは、前記支柱部材に添えられ、前記外部気球の膨張で効果的な最前部を形成するのに適していることを特徴とする請求項 1 に記載の装置。

【請求項 7】

前記装置は実質的に一定の深さで前記狭窄へ深く入れるのに適した複数のブレードを含むことを特徴とする請求項 6 に記載の装置。

【請求項 8】

前記支柱部材は、ポリウレタン材料で作られており、少なくとも 1 つのブレードがステンレス鋼で作られていることを特徴とする請求項 6 に記載の装置。

【請求項 9】

前記中空コアは、ガイドワイヤーの通路を通ることを可能にすることができるほど十分に単に大規模であることを特徴とする請求項 6 に記載の装置。

【請求項 10】

少なくとも 1 つのブレードはブレード軸を備え、少なくとも 1 つのブレードは、装置の中心軸と実質的に平行なブレード軸により支柱部材上で延長されマウントされていることを特徴とする請求項 6 に記載の装置。